

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0501008

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	6 保健・医療の充実	事業優先度	B	
単位施策	2 成人保健の充実	政策事務分類	4 法定自治事務	
事業名	結核予防対策事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	5 保健福祉課	
事業主体	雄武町	関係課	14 国保病院	
事業指標	結核検診受診率		#N/A	
事業目標	受診率20%	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	2	関係例規・法令名	2 感染症法	
住民協働		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容					
計 画 内 容	結核検診を実施することにより結核の早期発見、 早期治療及び結核感染を防止する	・結核検診の実施 ・結核感染防止に関する知識の普及	・結核検診の実施 ・結核感染防止に関する知識の普及	・結核検診の実施 ・結核感染防止に関する知識の普及	・結核検診の実施 ・結核感染防止に関する知識の普及	・結核検診の実施 ・結核感染防止に関する知識の普及					
計 画 事 業 費	事業費(千円)	953	86	111	210	252					
財 源 内 訳	国庫支出金	0									
	道支出金	0									
	地方債	0									
	その他	0									
	一般財源	953	86	111	210	252					
実 績 事 業 費	事業費(千円)	886	156	92	152	240					
財 源 内 訳	国庫支出金	0									
	道支出金	0									
	地方債	0									
	その他	0									
	一般財源	886	156	92	152	240					
関 連 事 項	(特定財源の詳細等)  【評価・実績】	(実施内容等) ・結核検診の実施 個別検診受診者数149名 受診率 10.3%  ※前年度評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) ・結核検診の実施 個別検診受診者数 88名 受診率 5.9%  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・結核検診の実施 個別検診受診者数 145名 受診率 15.3%  ※前年度評価結果 B-継続/現状維持	(実施内容等) ・結核検診の実施 個別検診受診者数 160名 受診率 16.8%  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) ・結核検診の実施 個別検診受診者数 164名 受診率 19.3%  ※前年度評価結果 A-継続/現状維持					
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値 受診率10%	年度達成率 181%	年度目標値 受診率13%	年度達成率 83%	年度目標値 受診率15%	年度達成率 72%	年度目標値 受診率18%	年度達成率 95%	年度目標値 受診率20%	年度達成率 84%
		全体達成率 16%	全体達成率 26%	全体達成率 42%	全体達成率 67%	全体達成率 93%	全体達成率 67%	全体達成率 67%	全体達成率 93%	全体達成率 93%	全体達成率 93%
		事業進捗状況 ☆☆☆	事業進捗状況 ☆☆	事業進捗状況 ☆☆☆	事業進捗状況 ☆☆☆	事業進捗状況 ☆☆☆	事業進捗状況 ☆☆☆	事業進捗状況 ☆☆☆	事業進捗状況 ☆☆☆	事業進捗状況 ☆☆☆☆	事業進捗状況 ☆☆☆☆

事業名	結核予防対策事業	評価者 管理職 職氏名	保健福祉課長	山崎 佳之
		評価者 作成者 職氏名	保健係長	佐々木 希美枝

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	65歳以上の町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	結核検診受診率の向上		
【抱える課題やニーズは】	結核に罹った町民が早期に治療を受けることができる	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	結核の治療を適切に受けることにより、結核の流行を防止する	①	結核検診受診率	目標年度	平成24年度
				目標値	16.8%
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	結核の治療を適切に受けることにより、結核の流行を防止する	②		実績値	19.3%
				達成度	114.9%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	結核検診の実施	町内医療機関への委託により結核検診(胸部レントゲン撮影)を実施した。			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	感染症予防法の規定により市町村に実施の義務がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	結核感染の流行は見られず目標を達成することができた。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	達成
	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成
	<input type="checkbox"/>	下回る

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	医療機関への委託により作業の軽減が図られるとともに、本事業と対象が重なるインフルエンザ予防接種と周知等を同時に実施することで効率的に実施することができた。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制
	<input checked="" type="checkbox"/>	人員削減
	<input checked="" type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減
	<input type="checkbox"/>	その他

(4)事務事業の公平性

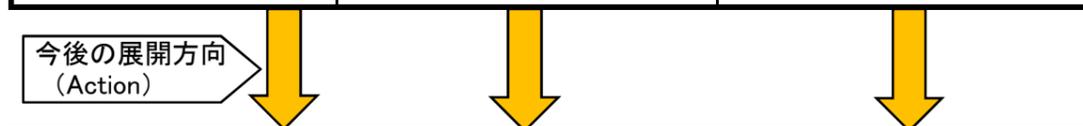
公平	判断の理由	受益者負担はないが、事業対象者へは広く事業の周知を行い、受診の機会を公平に提供していることから公平に事業を実施できたものとする。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
委託医療機関の協力により、効率的に事業を実施し、目標を達成することができた。		



今後の展開方向(Action)	継続/現状維持	
	日本国内最大の感染症である結核の感染拡大を防止するため、今後も委託医療機関との協力のもと受診率の向上を図る。	

※展開方向の区分  
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
 終了  休止  廃止